

地域おこし協力隊がお届けする

# はるはる

～凸と凹～  
10月号 No.18



**プ** チボランティアワークキャンプを実施いたしました！！南大平の耕作放棄地をお借りし、4連休で遊びにきた**友人3名&地元**の**皆さん**&急遽参加してくれた**協力隊のよっしー**と、少人数ではありましたが和気あいあいと、あつという間に刈り切る事ができました。しかし、藤の根が張っているなど、まだまだ畑にするまでには遠そうです。そこで！**バックホー**を持って**方貸してください**！藤の根を取り除きたいです。お願いいたします。泣

協力隊  
おっさんの方

ゆるい**しものついな**！



**山** と浜の子ども達を繋げたい。去年から考えていた事が、

思わぬ良い形で実行する事ができました。

泉町にある**泉キッズCAMP**の代表・嶋村さんにお誘いいただき11名の子とも達を連れて、夏祭りに参加させていただきました。

これからも多くの他団体さん達と手を組んで、子ども達が「田ん町にいる事が楽しい!!」と思えるようなイベントや行事を作りたいと思います。



よっしーの**たびと探し**



**地域おこし協力隊になって半年が経ちました！**

6ヶ月。気がつけば四季の半分をすでに田ん家で過ごしています。多くの方々にご助力頂くことで協力隊として活動できています。関わってくださっている皆様、本当にありがとうございます。

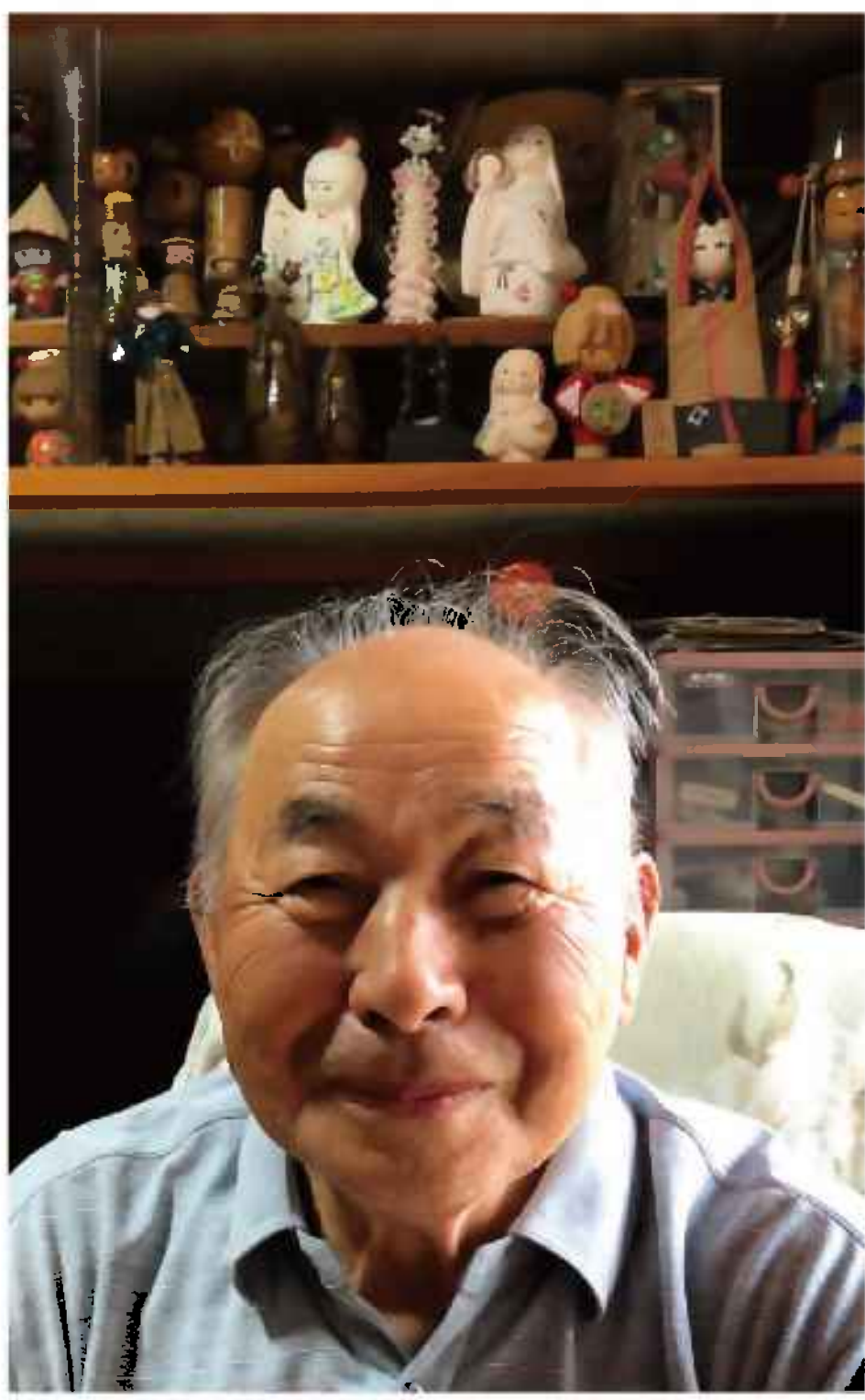
現在、地域おこし協力隊は、昨年度から続く**ヒトTABI**のフェ・子ども預かり事業を中心に活動しています。(下條さんはこれから任期後の拠点づくりに向けての活動に移行していきます)特に子ども預かり事業に関しては過去5年ほど放課後学童保育所で働いていた経験を活かしながら取り組んでおります。

子どもたちの中には将来、田ん家を離れる子もいると思います。幼少期に地元で楽しかった思い出、なにか成し遂げたような経験が培われなければ、大人になった時に田んに関わろうと思えないと思います。自分も似たような経験があるので余計にそう感じてしまいます。だからこそ、今田ん家で暮らす子ども達に「たのしい」「うれしい」と思えるような機会を増やしてあげたいと考えています。最近はそのれに加えて、子どもを通じて田ん家の色々な世代の「楽しい」「嬉しい」を増やせないか、と考えています。田ん家のこれからを担う子どもたちと、田ん家のこれまでと今を支えている方々、皆で楽しい田ん家の今をつくる手助けができればと考えています。

正直、この半年間は日々の業務をこなすだけで手一杯でした。ですが、これからは少しずつ自分の想いと田ん家の皆さんの想いを地域おこし協力隊として今後の活動に活かしていきたいと考えています。今後ともよろしく申し上げます！







このコラムは、田人の住民を、楽しく紹介し、田人の和を広げよう！といった企画です。第4回は私よっしーが担当の回です。今回ご取材させていただいたのは貝泊戸草にお住まいの藤枝 二三男（ふじえだ ふみお）さんです！

二三男さんは昭和30年から約40年間、ご自宅前で「藤枝商店」を営んでました。営業当時は戸草に学校があったことから、文具を売った生活必需品を中心とした品揃えでした。

当時は放課後になると、子どもたちがお菓子を買った道端で遊んだり、耕運機で買った物に来たおじいさんが一服しつつ、その光景を眺めている…。そんな風景が当たり前だったそうです。

そんな憩いの場としても愛された藤枝商店は、毎日目まぐるしい忙しさでした。毎朝4時に中央市場まで仕入れに行き、道が舗装されていないので「洗濯板のような砂利道」を往復されていたそうです。そして、夜9時半まで営業されていたとのこと。日中は、お店を奥様にお任せし、二三男さんは移動販売車で古殿、鮫川まで足を運び、その生活をなんと73歳までこなされてました！同じ生活をやれと言われても、正直できる気がしません…。田人町の人の強さを改めて感じました。

子どもの頃は、「学校通うのに獣道通って片道10キロは登ったり下ったりしてたなあ。」と懐かしそうに笑う二三男さん。幼少期の生活そのものが二三男さんの強靱な体力・気力を形作っていたのかもしれない！

今の生活についてお聞きしたところ、「昔一生懸命に頑張ったからこそ今ゆっくり生活できてるのかもねえ」とのんびり語る一方で「昔は子どもたちの声が聞こえたりしてにぎやかだったんだけどねえ…」と寂しいお話も伺いました。子どもも預かり出張版と称して子どもたちを連れてくるのはどうだろう？などと考えながらお話を伺いました。

今回のインタビューでは昔の田人の商売の苦労を知ることができました。二三男さん、ありがとうございました！

## 協力隊のイベント報告

9月6日（日）に、いつも大変お世話になっている集落支援員さんの力をお借りして、「じゅうねん料理教室」を行いました！お子さんも入れて8名もの参加者が来ていただきました。参加者からは、「じゅうねんって美味しい！」「擦るのが思っていた以上に大変。」「田人ならではの他の料理も習ってみたい！」などたくさん嬉しい言葉を頂きました。

田人町の食を通じてたくさんの方が係わる環境を整えていきたいです。その為にも、地域の美味しいを協力隊に教えていただけると嬉しいですね。そして今回のイベントは、作り方、食材まで用意していただいた集落支援員さん達のおかげで何とか行う事ができました。本当にありがとうございました！



大変お待たせいたしました！  
町のお困り事 **ひとたび** がお手伝いします！！

## 田人町の シルバー手助けセンター

家の整理整頓

お墓の掃除

軽トラで  
買い物お手伝い

お家の床壁補修

お庭の草刈り

種まき・収穫  
のお手伝い



詳しくは、

- ・別紙の「シルバー手助けセンター」チラシ
- ・HITO-TABI：070-2437-9633

ご確認・ご連絡をください。

## HITO-TABI ひとたび通信

サラダのオリジナルドレッシングを「じゅうねんのドレッシング」に変更をしました。



市販のドレッシングとは違い「甘くないじゅうねんドレッシング」です。是非ご賞味ください。

10月・11月 営業のお知らせ

営業日：水・木・金・土

営業時間：11:00～15:00

10月17日（土）、31日（土）は、臨時休業とさせていただきます。